



## 熊野神社牛王板木 ごおうはんぎ

縦が二六・六センチ、横が四〇・七センチ、厚さ二・六センチの板木の裏には、文保二年（二二一八）十一月二日の銘が刻まれている。

牛王板木とは、寺社から出される災難よけのお守りの一つで、牛王宝印ともよばれるお札を刷った板木のことである。修験道関係の寺社では、これらのお札を山伏たちが民間に売りさばっていたという。「熊野山宝印」の文字は、熊野の神の使いである鳥を文様化したもので中世以降、田畑の虫よけや厄よけ、また起請文の用紙などに用いられた。

所在地 慶徳町新宮字熊野 熊野神社  
 指定年月日 昭和二十八年十月一日